unify
東日本ユニオンNIIGATA
http://niigatachihon.yukigesho.com/
2025年5月4日発行
第42号（通巻775号）
JR東日本労働組合新潟地方本部
発行者:星山 圭　編集者:教育・広報部

「在来線保線部門の将来ビジョンの実現に向けた組織の見直しについて」に関する申し入れ

申１１号2025年５月２日提出

この施策実現には社員の安全・健康・ゆとり・働きがいが実現されなくてはなりません。会社提案に対して、東日本ユニオンには多くの疑問が寄せられています。疑問・不安解消に向けて申 11 号を提出しました。

「変革２０２７」の実現に向けて

1. 入社７年目までの育成プランにおける成果と課題を明らかにすること。
2. 入社７年目までおこなっている「育成シート」の活用方法を明らかにすること。
3. 設備管理をおこなえる技術者育成の課題を明らかにすること。
4. 本施策を実施し、どのように技術力向上を図っていくのか明らかにすること。
5. 管理者のマネジメント能力に対する課題を明らかにすること。

「将来ビジョンの実現に向けた組織の見直し」

6. 各保線センターの要員数を明らかにすること。
7. 各保線センターの要員配置の考え方を明らかにすること。
8. 保線センターに予算担当を配置するのか明らかにすること。
9. 工事統括の業務内容を明らかにすること。
10. 計画推進チームにおけるグループリーダーの役割を持つ副長を配置するのか明らかにすること。
11. どのような場合に「専門チーム」が発足するのか明らかにすること。
12. 「専門チーム」が発足するまでのフローを明らかにすること。
13. 「専門チーム」の編成される社員指定の基準を明らかにすること。
14. 「専門チーム」の編成にあたり、各保線センターから必ず社員指定されるのか明らかにすること。
15. 「専門チーム」の編成にあたり、社員と面談をおこなうのか明らかにすること。
16. 「専門チーム」の業務を担う社員は、保線センターでの担務を持つのか明らかにすること。
17. 「担務変更」をおこなう場合の社員への周知期間を明らかにすること。
18. 「担務変更」をおこなう場合、社員とどのようにコミュニケーションを図るのか明らかにすること。
19. 現在の認定線区における課題を明らかにすること。また、課題解決に向けた今後の取り組みを明らかにすること。
20. 今後も認定線区基準を満たした場合は拡大をしていくのか考え方を明らかにすること。